

【樹木の部屋】

ハツユキカズラ

(キョウチクトウ科テイカカズラ属)

Trachelospermum asiaticum 'Hatsuyukikazura'

和名：ハツユキカズラ(初雪葛) **別名**：フイリテイカカズラ(斑入定家葛)

英名：Trachelospermum asiaticum 'Hatsuyukikazura'

リンドウ目 ツル性木本

原産地：日本、朝鮮半島

花言葉：素直にこたえたい、化粧、素敵になって、心の灯 **花色**：白



← ↓ 写真-1、2 ハツユキカズラ
撮影日：2020年05月09日
撮影場所：大和郡山市郊外にて
撮影者：M さん



← 写真-3 ハツユキカズラの新芽
撮影日：2020年05月01日
撮影場所：大和郡山市郊外にて
撮影者：M さん



← 写真-4 ハツユキカズラの蕾

撮影日：2020年05月01日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん



→ 写真-5 ハツユキカズラの花

撮影日：2020年05月06日

撮影場所：大和郡山市郊外にて

撮影者：M さん

ハツユキカズラは、新葉の鮮やかな色彩が美しいリーフプランツです。テイカカズラの園芸品種で、葉は小さく、新葉にピンク色と白の不定形の斑が入る姿が美しい植物です。成長がゆっくりとして、コンパクトにまとまるので扱いやすく、寄せ植えやハンギングバスケット、グラウンドカバーなどに多用されています。枝を長く伸ばして、あんどん仕立てやフェンスに絡ませることもできます。

斑は成長とともに変化し、新芽が出たときは濃いピンク色で、次第に薄くなり、さらに進むと緑色の地に白の斑点となり、やがて緑一色になります。それぞれの生育段階の葉が入り混じるので、成長が活発なときはカラフルです。また、秋から冬に紅葉する姿も美しいです。

前年の夏に花芽ができるので、剪定の時期や頻度によっては花が咲かないので要注意です。花後すぐに剪定をすれば風車のようにねじれた形の特徴のある、小さい白色の花を見ることができます。花は咲き進むとクリーム色に変化します。日陰でも育ちますが、あまりに暗いと斑がきれいに出不ないので、夏以外は日なたで育てると良いそうです。

ピンク色の葉っぱが、少しずつ白へと変化する様子が、初雪が積もる様子を連想させることが、「ハツユキカズラ」という名前の由来だそうです。